

製品名: ERK5 (1Z9) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe10604**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:20-1:50,IP 1:20-1:50
分子量	88kDa

抗原情報

遺伝子名	MAPK7
別名	Big MAP kinase 1; BMK 1; BMK 1 kinase; BMK-1; BMK1; BMK1 Kinase; ERK 4; ERK 5; ERK-5; ERK4; ERK5; MAP kinase 7; MAPK 7; Mitogen Activated Protein Kinase;
遺伝子 ID	5598.0
SwissProt ID	Q13164
免疫原	ヒト ERK5 の合成ペプチド

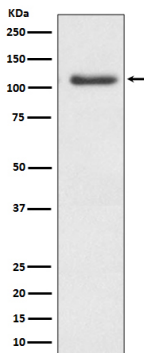
背景

Erk5 (マイトジェン活性化プロテインキナーゼ 7、Big mitogen-activated protein kinase 1) は、増殖、分化、生存を含む数多くの細胞プロセスの調節に関与する MAPK スーパーファミリーのメンバーです。神経細胞では、Erk5 は、NGF 誘導性の神経突起伸展、神経細胞の恒常性、および生存に必要です。Erk5 は、内皮細胞の移動とバリア機能の維持を介して、血管の完全性に役割を果たすと考えられています。増殖、分化、細胞生存などのさまざまな細胞プロセスで役割を果たします。MAPK7 の上流活性化因子は、MAPK キナーゼ MAP2K5 です。活性化されると、核に移行し、MEF2C などのさまざまな下流ターゲットをリン酸化します。EGF は、Ras 非依存かつ MAP2K5 依存性の経路を介して MAPK7 を活性化します。筋細胞の分化に役割を果たしている可能性があります。MAP2K5 と MAPK7 は互いに特異的に相互作用し、MEK1/ERK1 または MEK2/ERK2 経路とは相互作用しません。SGK1 の Ser-78 をリン酸化しますが、これは成長因子誘導性の細胞周期進行に必須です。PML-MDM2 相互作用を阻害することで p53/TP53 の制御に関与します。

研究分野

-

画像データ



Hela 細胞溶解物中の ERK5 発現のウェスタンブロット分析。